

地域力向上事業（助成事業）評価シート

<令和4年度> （ 北区区振興課 ）

事業名	ごみ減量・古紙回収 意識啓発事業			
実施団体名	ほそえサンレディース			
事業の目的	過去25年にわたる古紙回収事業から得た課題(上質古紙リサイクルに係る誤理解)を解消するとともに、ごみ減量に関する市民の意識向上を促す。			
事業の成果(内容)	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古紙回収事業に併せて、ごみ減量のためのPRイベントを年8回開催する。 <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 近年減少傾向にあった古紙回収量が増加に転じた。(令和4年度 61,119kg、前年比約 1,300kg の増) ごみ減量啓発パネルを利用したPRにより、古紙リサイクルや、家庭用コンポスト利用による生ごみ処理に関する、住民の知識向上が図られた。 古紙回収の実施場所を拡大したことで、本事業に係る新たな担い手育成の契機となった。 			
総事業費(円)	647,763円	補助金額(円)	323,000円	
評 価	項 目	ランク		
		A	B	C
	1) 北区らしさ	高い	普通	低い
	2) 事業目的の達成度	高い	普通	低い
	3) 財政支援の必要性	高い	普通	低い
4) 費用対効果	高い	普通	低い	
意見等				
<p>全国的な課題である「ごみ減量」を、北区内で長年古紙回収事業に携わってきた団体ならではの視点やノウハウから解決しようとした事業で、公益性の高さがうかがえる。</p> <p>また、近年減少傾向にあった古紙回収量が増加に転じたことや、本事業の取組みから新たな担い手となり得る賛同者が得られた成果から、今後の更なる事業拡充や、他地域における同類の事業への波及を期待する。</p> <p>今後も本事業を継続し、ごみ減量や古紙回収に関する市民の意識向上を図られたい。</p>				

地域力向上事業（助成事業）評価シート

<令和4年度> （ 北区区振興課 ）

事業名	イイじゃん！おくはまなこ			
実施団体名	常葉大学浜松キャンパス 地域貢献サークル Cocoa			
事業の目的	令和5年1月から放映されるNHK大河ドラマ「どうする家康」を好機と捉え、大河ドラマ館や浜松城等を中心とした集客に対し、地域の飲食店や小売店の情報を北区の魅力とともに発信することで、新たな集客と賑わいを創出する。			
事業の成果 (内容)	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域PRイベント「イイじゃん！おくはまなこ」の開催 ・奥浜名湖地域を題材としたSNSによる「写真コンテスト」の開催 ・大学生による地域魅力動画の撮影・発信、ホームページの開設 <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学生が直接に出向き、SNSを通じ奥浜名湖地域の魅力をPRしたことで、賑わいづくりや、若者目線での地域の魅力の「気づき」につながった。 ・地域PRイベント「イイじゃん！おくはまなこ」においては、計画5,000名に対し、13,219名の集客を得ることができ、地域の魅力を広く発信できた。 			
総事業費 (円)	1,942,257円	補助金額 (円)	971,000円	
評 価	項 目	ランク		
		A	B	C
	1) 北区らしさ	高い	普通	低い
	2) 事業目的の達成度	高い	普通	低い
	3) 財政支援の必要性	高い	普通	低い
4) 費用対効果	高い	普通	低い	
意見等				
<p>地域PRイベント「イイじゃん！おくはまなこ」においては想定以上の集客を得て、来場者の評価も高かったことから、奥浜名湖地域の魅力を最大限に発信できたものとうかがえる。</p> <p>また、大学生が地域を直接訪問し取材を行い発信した「若者目線での魅力」は、取材を受けた事業者や地域が気づき得なかったものである。</p> <p>今後は、大学生との連携が構築された地域を中心に、本事業を通じて再発見に至った地域の潜在的な魅力を発信できるよう、更なる取組みを期待する。</p>				

地域力向上事業（助成事業）評価シート

<令和4年度> （ 北区区振興課 ）

事業名	高校生による地域情報発信事業			
実施団体名	湖北 MAGIC 株式会社			
事業の目的	広報はままつの区版廃止に伴い、北区に不足している身近な情報発信ツールや地域住民と若年層の繋がりの薄さを、高校生の目線で解決を図る。			
事業の成果 (内容)	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生が地域貢献に取り組む企業や団体を直接取材し、聞き取った内容を高校生目線での地域情報誌として編集した。 ・情報誌は 7,000 部作成し、引佐地域への全戸配布や地域内の公共施設・企業等へ配布・配架するとともに、その内容を SNS で発信した。 ・継続事業（2年目） <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の取組みの反省から、情報を絞り込み、文字数を減らしたことで、住民から「読みやすくなった」と好評を得、高校生の編集技術の向上にもつながった。 ・高校生の取材活動から、若者と住民や地域団体との新たなつながりができた。 			
総事業費 (円)	210,000円	補助金額 (円)	84,000円	
評 価	項 目	ランク		
		A	B	C
	1) 北区らしさ	高い	普通	低い
	2) 事業目的の達成度	高い	普通	低い
	3) 財政支援の必要性	高い	普通	低い
4) 費用対効果	高い	普通	低い	
意見等				
<p>編集・発行した冊子は地域情報を集約したもので、住民の情報収集の一助となり得たことに加え、若者目線の記事は、住民が地域の新たな魅力を再認識する契機となり得た。</p> <p>また、編集の過程で高校生が直接取材を行ったことで、希薄となりつつある住民と若者の新たな交流の契機となり、若者の地域愛の醸成のみならず、取材を受けた企業や団体においても、将来を担う人材確保のきっかけとなり得た。</p> <p>冊子の内容にも成長が見受けられることや、発行に必要な協賛金を募るノウハウも蓄積されつつあることから、本事業により培った地域との関係を活かした情報誌の更なる充実や、発行に係るノウハウを活かした実施地域の拡大を期待する。</p>				